

学校だより



川西市立多田小学校

10月号 平成30年10月1日

学校HP: <http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadapo/>

日が少しずつ短くなり、朝夕の涼しさが秋の深まりを感じさせてくれるようになりました。2学期が始まって1ヶ月が過ぎ、子どもたちもそれぞれの思いを胸に毎日の学校生活を頑張っています。体力・気力・学力とも友達と一緒に、仲良く伸びていってほしいことを願っています。

修学旅行へ行ってきました!

6年生は29日(月)~30日(火)広島方面へ修学旅行に行きます。

1日目は「平和記念公園」や「平和記念資料館」で被爆証言者のお話を聞いたり資料見学・碑めぐりなど平和学習をします。2日目は宮島へ渡り「厳島神社」の見学や買い物を楽しみます。

私が小学校の頃の修学旅行と比べると、行き先や交通機関、目的などずいぶん変わってきていますが、大人になってからもよく覚えていて、楽しい思い出となっているところは変わっていません。

誰もが「行ってよかった」「楽しい思い出ができた」と思える修学旅行にするために、まず体調を整えいい状態で修学旅行を迎えてください。そして、集団生活ですので、人の話をよく聞き、わがままは我慢してください。最後にお世話になるみなさんへの感謝の気持ちを忘れないでほしいです。

みんなで、素晴らしい修学旅行にしてくださいね。



修学旅行

修学旅行の様子はホームページで紹介します。ご覧ください

成功の反対の意味は・・・

みなさんに『成功』の反対の意味は?と聞くと、多くの人からは『失敗』という答えが返ってくることでしょう。ところが、作家であり精神科医である加賀乙彦さんは著書『不幸な国の幸福論』の中で次のように書いています。

成功の反対の意味は「チャレンジしないこと」

以前、子どもたちに「将来の夢は何ですか」と聞いたことがあります。そんなとき、「わからない」とか「特に何もありません」と答える子どもがいました。さらに、「どうして?」と聞くと、「どうせ無理だから」とか「考えるのもやるのも面倒だから」と答えが返ってきました。

また今では、ほとんどの人が携帯電話などをっていますが、直接話すより、メールやラインでやり取りする人の方が多いようです。ある人に「どうして?」と聞いたことがあります。すると「直接だと言いたいが言えないけど、メールなら思っていることを書いて送れる」と言っていました。

さらには、クラスの中で友達に嫌がらせをしたり、言っではいけないことを言ったりする人がいてもなかなかその人に注意することができないと言います。「どうして?」と聞くと「注意すると気まづくなったり、自分が友達の中で浮いてしまったりするのが嫌だから」という答えが返ってきました。

加賀さんはこの本の中で「若い人たちには失敗を恐れず挑戦してほしい。傷つくことを恐れず人と深く関わり、希望を持って世界を広げてほしい」と言っています。

確かに、将来の夢を持ったとして、その実現に向けて努力に努力を重ねたとしても、その夢が絶対に実現できるかどうかはわかりません。場合によっては実現できない可能性の方が高いかもしれません。しかし、そう思って何もしない、チャレンジしなければ、絶対に実現させることはできません。

また、メールで伝えてしまえば、自分の伝えたいことだけを相手の反応にも気遣う必要もなく、自分の送りたいときに送れます。さらには、間違ったことをしている仲間を見て見ぬふりをしていたほうが摩擦も起きず、友だち関係が一見スムーズにいくように思えるかもしれませんが、相手から傷つけられる心配もないかもしれません。

ただ、そのような友だちとの関係からは、思いやりの気持ちや優しさ、相手を気遣う心は育ちません。もちろん、友情なども芽生えることはないでしょう。時には、友だちの言動に傷つくこともあるかもしれません。しかし、それを恐れていては望ましい人間関係を築くことはできません。

日ごろから、何事に対しても失敗を恐れず、チャレンジ精神をもって日々生活していく中で、満足感や達成感、さらには充実感をたくさん感じてほしいと願っています。



～がんばる 多田小の子どもたち～

第18回全日本少年少女空手道選手権

種目 一年男子組手

第3位 公手 翔海くん



日々の学校生活についても、ホームページで紹介しています。ご覧ください。